

「一番安い鋼種でいいけどどれ？」

「薬品に強いものは？」

「熱に強いものは？」

.....

SUS430 SUS310S
SUS304 SUS316

ステンレスには様々な鋼種があります。

ステンレスの材質記号は SUS（サス）で、SUS の後に続く 3 桁の数字等が鋼種となります。

例えば、SUS304 や SUS316 などの 3 桁の数字の部分が鋼種を示します。

弊社では、この鋼種選定についてよくお問い合わせをいただきます。

そこで主に取り扱っております SUS304・430・316・310S の鋼種の特質及び加工例について簡単にご説明いたします。

・ SUS304（サス サンマルヨン） **標準**

磁性のないオーステナイト系ステンレスの基本鋼種です。

耐食性・耐熱性良好で、弊社の加工品で最もよく使用される一般的な鋼種となります。

しかし、塩素や酸の強い環境では腐食がおきます。

【加工例】 食品工場の機械装置や部品・一般工場や化学プラントでの設備部品等

・ SUS430（サス ヨンサンマル） **安価 磁性**

磁性のあるフェライト系ステンレスです。

SUS304 と比較すると耐食性は劣りますが、安価となります。

家庭・厨房等の水回りで使用する程度なら問題はございません。

【加工例】 一般家庭の台所シンク・厨房機器・家電部品等

・ SUS316（サス サンイチロク） **耐薬 高価**

磁性のないオーステナイト系ステンレスです。

SUS304 より耐久性・耐食性に優れていて、価格も高価となります。

また、耐酸性・耐熱性にも優れているので化学薬品や海水の影響を受ける加工品に使用されます。

SUS316 より加工がしやすい SUS316L もございます。

【加工例】 海産物工場の機械装置部品・船舶部品・薬品タンク等

・ SUS310S（サス サンイチマルエス） **耐熱 高価**

熱に強い高級耐熱鋼種です。

耐熱性も SUS304<SUS316<SUS310S の順で、価格も高価となります。

炉材など過酷な条件で使用される鋼種です。

【加工例】 炉などの燃焼装置部品・ガasket等

製作ご依頼品の鋼種選定でお困りの場合は、お問い合わせ下さい。